

第15回 高山市新火葬場建設検討委員会 議事録

日時： 令和元年5月14日(火) 午後1時30分から午後2時30分まで

場所： 高山市民文化会館 3-11 講堂

出席者：

(新火葬場建設検討委員会委員) 33名

竹内 治彦 秋山 孝正 豊田 洋一 片山 幸士 蓑谷 雅彦
高木 淳 野尻 修二 谷口 寛子 岡村 康 阪本 太
清水 裕登 野中 憲治 山越 祐介 田中 宏 水野 千恵子
和仁 紀男 釜屋 隆司 小峠 賢次 野々尻 順子 中田 幸男
田中 晶洋 大下 正幸 塩屋 正道 狭場 芳男 岩茸 伸一
堀内 昇一 松葉 慶一 上坪 道利 林 順一 川原 正巳
今井 久和子 谷口 大悟 小坂井 唯夫

(高山市)

副市長 西倉 良介

(新火葬場建設検討委員会事務局)

事務局長・高山市市民保健部長 矢嶋 弘治

火葬場建設推進室長 池之俣 浩一 火葬場建設推進室担当監 大川 誠

火葬場建設推進室職員 義基 現徳

(傍聴者) 14名

1. 開会

委員長： こんにちは。元号が変わるまでに委員会としての答申をしたかったのですが、諸般の事情で元号をまたぐことになりました。

今までに全体会議を15回、部会を9回開催し、他市の火葬場の視察に3回行きました。候補地の視察は段階ごとに何回も見直し、それと市長への答申を含めると40回近くのことを委員会は担ってきました。

委員会を継続していくうえで、議会、行政、市民のいろいろな意見を聞き、3年近くにわたり会議を進めてきました。後で申しますように部会では絞り込みをかなり進めたので、それを委員会に報告し、委員会でご検討いただき、できたら今日決めて市長への答申にしたいと、私の予定としては考えています。

これまで3年近くかかっており、組織によっては委員が交代したところもありますが、皆様が市民の代表として支えていただいたことに大変感謝しています。今日どの

ように議事が進むかによって変わりますが、討議のほど、どうかよろしくお願ひします。

2. 副市長あいさつ

副市長： 改めまして皆様こんにちは。平成31年度初と申しますか年号が令和になりましたが、今年度、全体会議ということでは、委員長がおっしゃったように最後の予定です。

今日は大変お忙しい中、多くの委員の方にご出席をいただきました。特に有識者の委員の方には遠路お越しいただきありがとうございます。平成28年度の夏にスタートしたこの委員会で、委員長をはじめ多くの皆様から、自分のこととして積極的に、ご指導、ご助言をいただき、さらには現地視察なども重ねていただき、今日の日に至ったと思っています。

多くの候補地があがった中で、昨年末に5件に絞り込まれ、その後も全委員の方が現地をしっかりと見極めてご意見をたまわり、その意見を受けて部会でも会議を重ね、部会の意見を踏まえ、全体会議が開催される次第です。私もできる限り参加させていただいたつもりですが、このように多くの人数の会議にも関わらず、皆様から積極的にいろいろなご意見をたまわりました。本当に感謝を申し上げるところです。

委員長がおっしゃったように、いよいよ最終段階になってきました。候補地の選考ということで、議論を尽くされたうえでもっとも望ましい候補地を選考していただきますようお願いして、冒頭の挨拶とさせていただきます。

3. 委員会の成立等について

委員長： 委員会の成立について事務局よりお願いします。

事務局： 委員会の成立等についてご報告します。42名中33名の委員にご出席いただいておりますので、会議が成立することをご報告します。それから、交替された委員の方を紹介させていただきたいのですが、よろしいでしょうか。

委員長： はい。

事務局： 2人の委員が交代されたので紹介させていただきます。高山市PTA連合会の委員が交代されました。

委員： お願いします。

事務局： 高山市町内会連絡協議会の委員が交代されました。

委員： こんにちは。3年近く続いている会議に、大詰めのところで席に着かせていた

だくことに申し訳ないような思いもあるのですが、この地域に住まわせていただいている一人として、どの方にも末永く愛されるような地域となることを願い、本日会議に望ませていただきました。よろしくお願いいたします。

(事務局にて資料の確認を行った。)

4. 前回議事録の確認

委員長： それでは前回の議事録の確認をします。すでにご送付しましたが、特別、ご意見はございませんでしょうか。私のほうでチェックを済ませたものを配付しています。ご意見がないようでしたら、これでご承認いただきたいと思います。そしてホームページにアップしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

5. 市民から寄せられた意見について

委員長： **資料2**は市民から寄せられた意見です。意見の原本を委員のみに回覧しますので、この委員会の間に見ていただきたいと思います。

6. 【議題1】候補地の選考（選考手順③）

委員長： それでは本日の議題に入ります。前回の委員会で候補地が5つになり、それから絞り込みをしてきました。2回、部会を開きました。部会は2月26日と3月26日に開き、部会を開く前に候補地の現地視察を行いました。2月26日に5件から3件に絞り込み、3月26日に3件の順位付けをし、この委員会に提示したいと思います。私から写真などを用いて説明したいと思います。

5つの候補地が残っていました。まず、江名子町の候補地について、敷地西側には高山市の農道があります。東西両側に農地があります。南側の道路向かいには企業があり、住宅地は少し遠いものの、企業は隣接している状況です。企業には会議室があり、委員の皆様にはそこに行っていたのですが、そこはお客様用の食堂でもあったとのことでした。そこから候補地を見ると、候補地はL字型にあります。周囲の山林は候補地ではありません。その会議室から確かに候補地を見下ろすことができます。しかも敷地の形状はL字型ですが、面積はかろうじてクリアしています。

ここについて優れている点は、市街地から3、4キロメートルというのはよいとい

うことと、近隣に住宅は少ないということです。住宅は少ないのですが、隣接して企業があり、会議室でお客様の食堂にもなるところから、道路を隔てて見下ろせるところです。企業ではあるのですが、非常にたくさんのお客様がいらっしゃる場所です。もう一つ、候補地がL字型で細長いので、形としてはいかがなものかとの意見が出て、江名子町の候補地は、部会としては5つの候補地から下ろしたいということです。

次に、皆様よくご存知の現存の火葬場のところですが、今使っている敷地はだいたい3,000平方メートルぐらいだと思います。窪地になっており、応募された土地は山であり、畑などではありません。ですから、面積としてはあるのですがいかがなものでしょうか。

優れている点は市街地から非常に近いこと、それから火葬場として近隣住民等の違和感はないだろうということです。しかし、もともとこの施設が老朽化し、交通事情等で建て替えの必要性が生じ、前回のスカイパークの話が進んだのです。ここは建て替えの必要性が生じ、公募された土地を入れても敷地が不整形であること、それから、現在の火葬場を利用しながら建て替えるのはかなり難しいので、5つの候補地からこの2つは落として、次の選考に入りましょうということです。よろしいでしょうか。

新宮町の候補地は原山といわれるところで、公園の上が公募の土地です。道路からも家からも見渡せる場所です。それがかえってよい場所ではないかとの意見もありました。公園の上から見てみると、景観的には見渡すことができる、非常によいところではあるのですが、あまりふさわしくないとの意見もありました。

やはり市街地から近い、開けた斜面で見晴らしが非常によいという利点があります。しかし反対から考えれば、火葬場を建設した場合、広範囲の住宅から見渡せることとなります。また、平坦地の造成及び取付道路の整備に多額の費用がかかります。候補地の下のほうは公園で、その奥が応募の土地です。最初、平坦地の造成だけかと思っていましたが、道路を付けるのが必要となれば、ざっと数億円かかります。さらに残土が出ますので、その処理にまた数億円かかるだろうと予想されます。

初めはそれだけで議論を進めていたのですが、もう一つ、候補地を見に行ったところで、取付道路を公園内に作らなくてはならないと、市から説明されました。今の公園の中に取付道路を作るのはかなりの問題ではないかという弱点があります。そのことはかなり後の段階で分かったので、3つの候補地としては残していません。

次の丹生川町大萱の候補地は、2つの農地が通路を隔ててあり、すべての面積を合わせて約3ヘクタールあります。この優れている点は、自然豊かで落ち着いた環境であること、周囲が開けており開放感があること、農地と農地の間に段差はありますが、それぞれの敷地は平坦で広いことです。農地のうち1枚を使うだけで、火葬場ができるのではないかというぐらいの広さです。また、委員会でもご報告したように、寄贈されるので取得費用がかからないということを優れている点と評価しています。課題があるのは、やはり市街地からやや遠いということで、10キロメートルほど離

れています。ただし、道の奥は行き止まりですので、今のところは最後の建物となつていこうという事です。

清見町牧ヶ洞ですが、15年ぐらい前に企業を誘致するための団地として開発したところだ。今、ソーラーパネルがあり、その奥には道を隔てて企業の寮があり、もう1軒、ロボットに関する施設があります。それらの東側が空いている状況だ。これが3ヘクタールぐらいあります。少し窪地になっていますが、利用には問題がないかと思ひます。候補地の周囲の土手も高山市の土地だ。

優れている点は、すでに造成済みの平坦地になっており、新たに造成する必要がないことだ。それから、中部縦貫道高山西インターチェンジに近いので、アクセスがよく、外からも来やすい場所ということだ。ただ、課題としては市街地からやや遠いこと、現に市が企業誘致を進めている土地であるということだ。副市長から前回はご説明があり、企業立地のために開発した土地であつて、企業からの申出はあるが成立はしていない段階で、もし委員会が候補地にあげたら、それはそれで受け入れると聞かれています。

この5つから3つに絞り、3つに順位付けをしました。今の説明について何かご質問はございませんか。

先ほどもご説明しましたように2月26日、3月26日の2回、部会を開き、絞り込みをしました。3月26日には午前中に候補地を見て討議するというプロセスを進めました。

資料4は、3カ所の候補地にこの図のように建てるということではなく、余裕を持って建設することができるという、例をはめ込んだものです。

また、資料5は残った3つの候補地について、選考基準に従って意見を部会で入れていただきました。点数化しているわけではなく、二重丸、丸というふうに、意見から評価を試みました。そのことを図式化したのが資料6で、丹生川町大萱の候補地が赤、清見町牧ヶ洞が黄色、新宮町が青として図に表したものです。こうしたほうが見やすいただろうとの部会委員の意見を受け、作成しました。

部会としては、第1位が丹生川町大萱の候補地で、農地が2枚、駐車場もあつて全体で3ヘクタールあります。その次に、清見町牧ヶ洞の企業団地のところを第2位としています。それから、公園の中に道路を作るプランではよくないこともありますので、新宮町を第3位として委員会にご提案したいと思ひます。部会の中でいろいろな意見がありましたが、最終的には部会案として満場一致で委員会に提案したいというものですので、ご討議のほどよろしくお願ひします。資料5の下のほうの欄に、丹生川町大萱が1位、清見町牧ヶ洞が2位、新宮町が3位として、委員会にかけたいと思ひています。

部会でも、委員会でも話してきたのですが、今度決めたら、その土地で操業しながらの建て替えが可能ないように、それだけのスペースがあるほうがよいのではないかと

思います。こういった委員会を20年、30年後に開かなくても建て替えが可能なように、今の候補地についてはそれだけの面積を確保しているをご理解いただきたいと思います。

委員： 令和元年度の飛驒地区の体育大会の会場が決定したのですが、野球の部は丹生川町大萱の候補地の入り口の辺りにある野球場を使うことになり、そこは2面あることから非常に大事な野球場です。野球場が2面ある唯一の施設で、その横にはミニゴルフ場があります。その奥が候補地ですが、**資料5**に「近隣スポーツ施設等への配慮を要するが」と書かれています。どのぐらいの配慮をしてもらえるのか、お考えはありますか。

委員長： どのような配慮をするかというのは部会の権限を逸脱しますから、そういう施設があることを視察したときに考えたということです。こうしなくてはならない、こういうことはやめようということではなく、施設があることは建設するときには配慮が必要だろうと思います。

委員： 配慮していただけると判断してもよろしいでしょうか。

委員長： それは委員会が決められることではなく、答申した後、候補地が決まれば行政や議会にお任せすることになります。そのときに委員が言われたこと、あるいは部会で考えたことに配慮いただきたいと、そのようにご理解いただきたい。

委員： **資料5**の表に私は違和感を感じます。15項目あり、丹生川町大萱の候補地がふさわしいように見えますが、「1 故人の旅立ちにふさわしい周辺環境」の持ち点と、例えば「7 用地の取得費用」の持ち点と同じというのは、計算上おかしいのではないのでしょうか。もっといえば、一般の市民に一番関連があるのは、やはり近いことだと思います。それにも関わらず、同じ持ち点が配分されているのは、この表から導かれるところが少し違ってくるのではないのでしょうか。

委員長： 15の選考基準を作りその中で加重することは、それで候補地を決めることになります。そのことは非常に難しいから、このような形で選考基準にとってふさわしいか、ふさわしくないのかで決めてまいりました。決め方はいっぱいあると思います。加重していくとその段階で意思が出てしまいますから、この形にしました。

委員： **資料5**に3件の候補地の評価が出ていますが、ポイントにしたら微妙な差だと思います。理想的な火葬場は近場がよいということは、市民の一つの願いだと思います。1月に現地を視察しましたが、朝少し雪が降り、清見と丹生川にも行きましたが高山とは雪の量がかなり違っていました。本当に市民の要望を取り入れているかということ質問させていただきます。部会委員の方で、だからこのようになった、絶対にこのようなことがあるからこの順位になったといったお考えがあれば、聞かせていただきたいと思います。

(部会委員から発言はなかった。)

委員長： 部会としては全会一致でご提案しているもので、ここでは特にご発言はござ

いませんので、よろしく申し上げます。

それでは、他にご意見がないようでしたら部会案をご承認いただきたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。ご意見があったことは議事録に残しますので、この部会案で市長に答申することで、ご異議はございませんか。

出席委員： 異議なし。

委員長： よろしいでしょうか。ありがとうございます。ご意見があったことは議事録に残しますし、市長にお話し申し上げます。部会案の、順位付けしたものを市長に答申したいと思います。答申にあたり、私と副委員長に答申の文書等はお任せいただきたいと思います。簡明なものにしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。こういう過程で、こういう順位で、候補地を選定しました。あとは行政、議会にお任せすることになると思います。よろしいでしょうか。

出席委員： 異議なし。

委員長： ありがとうございます。今もご意見がありましたように、今の火葬場からすれば倍ぐらいの距離がかかることになると思います。しかし、こういう形で部会並びに委員会を通り、部会案をご承認いただきましたので、これで答申をさせていただきたいと思います。

7. その他

委員長： 長きにわたって、3年もかかると思っていなかったのですが、委員の方のご協力があり、行政、議会からの意見を聞き、市民の方から出された意見は委員の皆様にも公開しながら、進めてまいりました。途中から早く早くとの声があがったのですが、やはり前回の轍は踏みたくないという、委員の方、それから行政も議会も市民もそうしたい思いで、時間はかかりましたが、今日の委員会でご承認いただいた案で提示したいと思います。

この委員会は今日で終わるわけではありません。答申を出しただけで答申がどのようになるか、地元との交渉等で円満に解決しない限りはまだ続いていますので、そのことをお含みおきいただきたいと思います。

8. 閉会

副委員長： 皆様、お疲れ様でした。今ほどお話しがありましたように平成28年8月から委員会が発足し、元号が令和に変わり、3年間に及ぶ議論をしていただき候補地の順位付けを今日決定していただきました。まことにありがとうございます。その

間、委員長をはじめ有識者の方には遠いところを足をお運びいただき、ご尽力いただきましたことに、厚くお礼申し上げます。

答申の後に市から議会へ速やかにことが実行されていくことを祈りながら、今回の会議を閉じさせていただきます。皆様、長い間ご苦勞様でした。どうもありがとうございました。

委員長： 副市長からも一言、お話しください。

副市長： 一言お礼を述べさせていただきます。新火葬場建設検討委員会は条例で設置された委員会です。ご存知のとおりスカイパークの一部を候補地として提案させていただきましたが、そこでの建設が叶わなかったことから、市民の方のご意見をたまわってまとめていきたいということで、立ち上がったものです。28年夏以降、3年近くの間、真摯にご議論いただきました。心からお礼を申し上げます。とりわけ委員長には遠路足を運んでいただき、会議の事前協議から大変お世話になりました。ありがとうございます。

先ほどお話のあったとおり委員の皆様のご役割としましては、候補地の選考をしたことでいったん切れるわけですが、設置条例にもありますように、役割を完了した日以降、規則で定める日をもって効力を失うこととなります。6月頭に市長へ答申していただく予定として調整させていただいており、答申を受け、今度は市として候補地が建設地としてふさわしいかを選考し、決定の手順を進めさせていただきます。手順としましては、議会への協議、地元との用地交渉、市民の皆様への説明等々を踏まえて、最終的には建設地として決定させていただきたいと思っております。

この間、委員という立場で引き続き推移を見守っていただければ大変ありがたいと思っておりますし、また、大きな変化等がございましたらそれぞれの方に、またはこうした場を設けて報告することもあろうかと思っております。そういった意味合いで、候補地、建設地としての推移を見守っていただければ大変ありがたいと思っております。今回大きな方針を出していただいたことに敬意を表し、感謝申し上げます、お礼の挨拶とさせていただきます。長い間、本当にありがとうございました。

委員長： それでは閉会といたします。